

第24回 上サロベツ自然再生協議会 再生技術部会 議事概要

日 時：令和元年6月20日(木) 13:30~15:20

場 所：豊富町定住支援センター「ふらっと★きた」多目的ホール

出席者：38名(個人13名、団体・機関12名、事務局13名)

傍聴者：10名(一般10名)

1. 開 会

2. 議 事

1) 農業と湿原の再生に向けた自然再生実施計画書(緩衝帯・沈砂池)に関する報告について

【北海道開発局稚内開発建設部】

(会 員) 緩衝帯及び沈砂池の事業実施状況を確認したい。

(開発局) 緩衝帯について、豊徳緩衝帯が整備中であるが今年度に完了する見込み。

豊徳緩衝帯の完成を持って、計画された緩衝帯は全て設置完了となる。

なお、排水路の沈砂池は、昨年度迄に全て設置済みである。

(会 員) 緩衝帯設置に伴う湿原への貢献について確認したい。

(座 長) モニタリング結果から、緩衝帯設置に伴い、湿原側の地下水位は維持され、農地側の地下水位は低下していることが確認されている。

(会 員) 沈砂池に堆積する土砂はどこから流入してくるのか。

(開発局) モニタリング調査は、排水路の流域特性でタイプ分けを行い、調査対象路線を選定している。

それぞれの排水路は地形条件などの流域特性で違いはあるが、堆積が多い沈砂池は山地流域からの土砂流入が考えられている。

(会 員) 緩衝帯の設置に当たり、湿原の質の違いは考慮されているのか。

(座 長) 湿原の質の区分・使い分けはしていない。

(会 員) 緩衝帯に隣接する湿原の湿性植物について、具体的にどのような種類があるか調査はしているのか。

(開発局) モニタリング資料では代表種で優占度を表現しているものである。

代表種以外の植生についても調査・把握している。

2) 上サロベツ自然再生実施計画書に関する報告について

【環境省北海道地方環境事務所】

(会 員) 旧原生花園跡地における残置した木道の今後の計画及び、植生調査の実施箇所を確認したい。

(環境省) 実施計画書に基づき、残置した木道は自然再生のモニタリングや調査活動のフィールドとして活用している。

現在は撤去する予定はないが、今後の実施計画書の見直し等があれば変更も

あり得る。また、植生調査は過去にあった施設の区画毎に調査地点を設けてモニタリングしている。

(会 員) ササの剥ぎ取り地における植生回復が遅い状況であるが、エゾシカの影響がより強く関わっているのか確認したい。

(環境省) ササ剥ぎ取り地は顕著な変化が見られていないが、徐々に植生が回復しつつある。

北海道大学の調査によると、エゾシカが周辺に多く生息していると考えられることから、植生回復が遅くなる一要因となっていると推測される。

(会 員) 水抜き水路2及び旧河川跡の水質がアンモニア等も含め全体的に高い。

これらは本当にエゾシカのみ影響なのか。堰止め工の補修に使用した泥炭も関係しているのではないか。

(環境省) 侵食部の補修をした泥炭は緩衝帯の発生土を利用しているため、特に問題ない旨、考えている。

(座 長) 水質の件については、かつて放水路の掘削土砂が周辺に撒き散らされたことも関係している可能性もある。

3) 稚咲内砂丘林自然再生事業実施計画書に関する報告について

【林野庁北海道森林管理局】

(会 員) 堆雪柵の設置目的とミズナラの植栽箇所を選定について確認したい。

(林野庁) 砂丘林内でミズナラ等が生育していない一部の樹林に堆雪柵を設置し、雪留め効果を促進し水源涵養効果を高めて、湖沼群の水位低下を抑制させることが目的。

また、同様に水源涵養機能を高めるためにミズナラ等が生育していない箇所に平成24年にミズナラを植栽したが、湿地帯が多く成長していないため、新たに植栽に適した箇所を選定。

(会 員) エゾシカ被害が多くなっているがその対策はどのように考えているか。

(座 長) エゾシカ対策については、再生協議会が設立された時点では特に問題ではなかった。

最近になって環境省や林野庁でシカ被害への影響等が議論されており、今後、自然再生協議会の中で取り組むべき課題とするか、議論が必要。

(会 員) 最近は昔に比べ水質が悪い湖沼が増えていると思うがその状況は如何。

(座 長) 水位及び水質調査については、データを蓄積し分析することが重要。今後もデータ収集を継続していただきたい。

(会 員) 市民参加と学習の場として活用していきたいとの発言であったが、民有林でも様々な取組を行っている。

国有林で行う場合は、違う切り口で行って頂きたい。

(座 長) 今後の活用については、普及部会等の中で意見交換いただきたい。

(会 員) これまで調査された過去のデータについてはとても貴重と考えているが、どこに何があるかが分からない。全体集約等を検討頂きたい。

(座 長) 行政機関の担当者については、数年毎に異動されるが、それぞれ担当部署毎にデータ保管されていると思う。

この一連の調査データはとても重要であるため、林野庁以外の機関においても、それぞれデータ保管をお願いしたい。

4) 平成30年度 行事報告について【事務局】

(事務局) 平成30年度における再生技術部会の行事を報告。

《質問・意見なし》

5) 令和元年度 再生技術部会の開催(案)について【事務局】

(事務局) 今年度の12月頃に、第25回の再生技術部会を開催したい。

《質問・意見なし》

3. 閉 会